

地域貢献 未来けん引



生源寺真一・審査委員長

異常気象や資材価格の高騰の下でも、卓越した経営成果を持續している受賞者の頑張りに敬意を表する次第です。皆さんの先駆的な取り組みは、今後の日本農業をけん引することになるでしょう。

農林水産大臣賞の向島和詞さんは、自身の有機栽培茶園を着実に拡大するとともに、近隣の

農家の有機栽培の定着にも貢献しています。さらに地域の要請を受けて茶の工場を新設し、加工や販売の領域でも高い成果を生みました。向島さんが茶の流通や消費について精通している

ことも大切な要素です。

中日賞の井上高宏さんは、ご母堂が立ち上げた稲の有機栽培を引き継ぎながら、中山間地域の持続的農業の充実を実現しています。ロボット田植え機や人工知能（AI）を活用した栽培管理システムを導入している点が特徴的です。さらに大学生との長期の交流による地域活性化への貢献も特筆されます。

お二人だけではありません。地域とのつながりを大切にすることは受賞の皆さんに共通しています。農業をけん引するだけでなく、農村社会の明るい未来を生む役割も果たされることでしょう。